

平成28年11月18日

「PC2001プラス」(Ver 2.52)改訂・追加内容

◆機能 UP

- ・分割梁の1本部材指定を追加しました。
- ・片持梁部材指定を追加しました。
- ・部材断面に垂壁を評価する指定を追加しました。
- ・有効率 $\eta = 0.85$ の固定値を変数可能としました。
- ・PRC 梁と RC 部材の導入時の設計を追加しました。
- ・プレストレスによる梁の軸変形分の柱荷重項を計算するようにしました。

PC2001内の計算には使用しない値ですが、一貫計算プログラムにおいて、プレストレスによる荷重項を考慮する場合に利用してください。

- ・接合部の検討を正負で考慮できる仕様を追加しました。
- ・PRC 精算式において、PC 鋼材の荷重増分 $\Delta\sigma_p$ を考慮する仕様を追加しました。

◆変更点

- ・旧部材種別の検討を削除し、鉄筋・鋼材係数の出力としました。
- ・プレストレスによる荷重項 $Q_0=0$ を $Q_0=\Delta Q$ の値を出力する仕様に変更しました。
- ・入力荷重の出力表記を変更しました。
節点荷重入力表を追加し、 CM_0Q_0 入力と柱梁荷重入力を分けて出力するようにしました。
条件入力の割合表示を変更しました。
- ・グラフィックスを一部変更しました。
寸法の丸止めを大きくしました。
架構形状において、高さ方向の寸法を横向きとしました。
文字が架構線や架構図とかぶらない位置に移動するように調整しました。
梁段差入力の際の架構図の表示を修正しました。
断面検定表の下部に余白がある場合に2断面以上表記する仕様に調整しました。
- ・計算プレビューの F2 キーからの表示される目次形式を変更しました。
- ・断面検定条件のフェイスと剛域端の入力を分ける仕様に変更しました。

平成28年11月18日

◆修正点

- ・接合部の検討時において、最上部（T形）の $jDe=cD$ （柱せい）に修正しました。
- ・荷重 PP 計算の $\triangle L$ が 1m で固定されて計算されていたので、分割長さで計算するように修正しました。
- ・2段筋の dr の計算に不具合があったため修正しました。
- ・ Xn 算出時の γ 計算に不具合があったため修正しました。

◆対話（機能 UP）

- ・ガイドコメントを追加しました。
- ・Tab キーの使用範囲を拡大しました。
- ・PC 材料の入力データをエクスポート・インポートできるようにしました。
- ・ ボックスを設ける仕様を増やしました。
- ・PC 配線の重ね合わせと連続配置の仕様を変更しました。

◆対話（修正）

- ・「基本データ」の「スパン入力」において、方向入力が連動していない部分があったので修正しました。

◆マニュアル

- ・§ 2 操作、§ 3 入力マニュアル、§ 4 対話入力マニュアル、§ 5 計算マニュアル、§ 6 Q&A に修正・追加をしています。
- ・付録として、『プレストレストコンクリート VSL 工法設計施工基準』を添付しました。

▲注意事項

- ・印刷フォーマットについて

PC 梁断面算定表の最初の 1 ページ目下端部分が、印刷ページから外れてしまうため下記の印刷設定として下さい。

印刷指定 → 印刷余白 → ヘッダ位置 の数値を 3 以下として下さい。